

フィットネスクラブマネジメント公式テキスト VOL.3(インターミディエイト)正誤表(2024.11.8)

ページ 及び行数	誤	正
22 事例 8 行目	多世代によってつくられている。文字 間スペース さらにヴィスポことひら	多世代によってつくられている。さらにヴィスポこと ひら
23 右 23 行目	クラブで中核である	クラブの中核である
25 右 11 行目	供用施設	教養施設
31 左 15 行目	概観できる	概観できる
37 左 10 行目	カーディアマシン	カーディオマシン
38 左 21 行目	P40	P39
54 右 15 行目	その分だけ税金の対象なり	その分だけ税金の対象になり
55 左 9 行目	入管をお待ちいただく	入館をお待ちいただく
56 右 4 行目	「おろしければ館内をご案内いたしま すが、・・・」	「よろしければ館内をご案内いたしますが・・・」
59 右四角枠内	Iching(冷却)	Icing (冷却)
63 左 1 4 行目	前提とし て開発された	前提として開発された * 文字間の余剰スペース削除
66 右 4 行目	自身だけでなく他会員 が映り込んでしまい	自身だけでなく他会員が映り込んでしまい * 文字間の余剰スペース削除
69 右 1 2 行目	きちんと行っているかどうか把握する	きちんと行っているかどうか把握する
69 右 27 行目	一時救命措置	一次救命措置
69 右 1 7 行目	高齢者がスタジオレッスン人参加し、	高齢者がスタジオレッスンに参加し、
70 左 3 行目	ADE (Automated External Defibrillator)	AED (Automated External Defibrillator)
73 左 7 行目	(使えるを身体を身につける)	(使える身体を身につける)
73 左 2 9 行目	エネルギッシュな音楽の中で仲間と頑 張る一体感やを	エネルギッシュな音楽の中で仲間と頑張る一体感を

74 左27行目	あたらなビジネスチャンス	あらたなビジネスチャンス
-------------	--------------	--------------

フィットネスクラブマネジメント公式テキスト VOL.3(インターミディエイト)正誤表(2024.1.17)

ページ 及び行数	誤	正
74 右34行目	労力がかかることが多かった	労力がかかることが多かった
75 左16行目	5. 2020年以降のスタジオプログラム	4. 2020年以降のスタジオプログラム
76 左4行目	4.新型コロナウイルス感染症がスタジオ運営に与える影響	5.新型コロナウイルス感染症がスタジオ運営に与える影響
77 左26行目	青竹ビクス	青竹ビクス
78 左2行目	プリントアウトしてて	プリントアウトして
82 左23行目	跳び込み	飛び込み
90 左1行目	・道路交通法	・道路交通法。道路運送法
92 左36行目	決裁	決済 *38行目、右5行目も同じ
113 右31行目	2,500~3,500万人程度→2,500→4,500万	2,500~4,500万
114 左1行目	5,500万人→	削除
118 右5行目~ 6行目	(図3)	(図4)
119 左 図の 番号	図3 新聞折込広告配布部数 Map	図4 新聞折込広告配布部数 Map
120 右13行目	図4	図5
121 図の番号	図4 フィットネスクラブにおけるネットからの入会	図5 フィットネスクラブにおけるネットからの入会
134 右7行目	自身にあったかものかを確認	自身にあったものかを確認
135 左13行目	退会お客に対しても	退会した人に対しても

イットネスクラブマネジメント公式テキスト VOL.3 (インターミディエイト) 正誤表 (2024.1.17)

ページ 及び行数	誤	正
150 右 3 行目	・結果と過程のなど価的価値	・結果と過程の等価的価値
165 左 30 行目	フィードバックに臨むことを大切である。	フィードバックに臨むことが大切である。
165 右 20 行目	疑心暗愚	疑心暗鬼
165 右 30 行目	状況況	状況
166 右 31 行目	4. マネジャー（支配人では？）のコンピテンシーと役割	4. マネジャー（支配人）の
167 左 28 行目	部下の行動のスピードが上げる場合もあるが、	部下の行動のスピードを上げる場合もあるが、
168 左 21 行目	Pacesetter（ペースメーカー）として	Pacesetter（ペースセッター）として
186 表 2	所定労働日数が週 4 日以下かつ所定労働時間が週 30 時間未満の短時間労働者への有給休暇付与日数について、継続勤務期間表示が、1 年 6 ヶ月以降すべて 1 年 6 ヶ月と表示。	所定労働日数が週 4 日以下かつ所定労働時間が週 30 時間未満の短時間労働者への有給休暇付与日数について、継続勤務期間表示は、1 年 6 ヶ月の次は 2 年 6 ヶ月、その次は 3 年 6 ヶ月、次は 4 年 6 ヶ月、次は 5 年 6 ヶ月、最後は 6 年 6 ヶ月以上と表示。
221 表 2	賛成	酸性